

平成18年度 第43回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成18年12月19日(火) 13:30～15:30

場 所 北方キャンパス本館 E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、晴山副学長、近藤副学長、国武副学長、羽田野事務局長、板谷
外国語学部長、迎経済学部長、木下文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学
学部長、谷村社会システム研究科長、柳井学生部長、中野教務部長、伊藤国際教育
交流センター長、棚次学術情報総合センター長、伊野入試センター長、漆原基盤
教育センター副センター長、吉塚地域貢献室副室長、前田評価室副室長

配布資料

- 1-1 教員採用選考報告書(法学部)
- 1-2 教員採用選考報告書(法学部)
- 1-3 教員採用選考報告書(法学部)
- 1-4 教員採用選考報告書(法学部)
- 1-5 教員採用選考報告書(国際環境工学部)
- 2 学部学科再編及びマネジメント研究科の新設に伴う学部長の選考に関する規程の一部改定について
- 3 北九州市立大学教員組織のあり方検討委員会設置要項(案)
- 4 北九州市立大学派遣留学制度の新設について
- 5 平成18年度教職員対象メンタルヘルス研修会の開催について
- 6 北九大ビジネススクール第1回説明会の開催結果
- 7 北九州市立大学技術経営(MOT)セミナー資料
- 8 ホームページへのシラバス掲載科目数について

(冒頭、第42回教育研究審議会議事録(案)について確認)

第1号 教員の採用について

* 法学部4月採用人事(行政法)について、選考委員会から、採用候補者(恩地 紀代子氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

* 法学部4月採用人事(刑法)について、選考委員会から、採用候補者(大杉 一之氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 法学部 4 月採用人事（労働法）について、選考委員会から、採用候補者（國武 英生氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 法学部 4 月採用人事（民法）について、選考委員会から、採用候補者（福本 忍氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 国際環境工学部 4 月採用人事（環境機械システム学科システム制御分野担当）について、選考委員会から、採用候補者（山本 郁夫氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき、採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第 2 号 学部学科再編及びマネジメント研究科の新設に伴う学部長等の選考に関する規程の一部改正について

* 平成 19 年 4 月 1 日の学部学科再編に伴う教員の異動及びマネジメント研究科の新設に伴い、北九州市立大学学部長等の選考に関する規程の一部改正について、資料 2 のとおり提案。

○平成 19 年 4 月 1 日の学部学科再編に伴う教員の異動により、文学部長が欠員となり、後任の学部長を選考する必要があるが、学部学科再編に伴う異動により学部構成員が大幅に変動するため、学部長選考手続における有権者等の特例として、候補者資格は、平成 19 年 4 月 1 日に当該学部属することとなる常勤の教授（ただし同日に採用される者を除く）とし、学部選考の有権者は、平成 19 年 4 月 1 日に当該学部属することとなる常勤の教育職員（ただし同日に採用される者を除く）とする。

○マネジメント研究科設置後最初の研究科長については、研究科の選挙を行わず、教育研究審議会の議を経て学長が選考する。また最初の研究科長の任期は 1 年とする。

- 各種委員会の委員選任のスケジュールはどうなるのか。
- 教育研究審議会の議を経て、学科長が選考されてからである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 北九州市立大学教員組織のあり方検討委員会の設置について

＊ 北九州市立大学教員組織のあり方検討委員会の設置について、資料3のとおり提案。

○特に講師・助教の位置づけについては、整理しなければならない。委員会の検討事項の実施は、平成20年4月1日以降を原則とするが、可能なものは早期に実施する。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第4号 北九州市立大学派遣留学制度の新設について

＊ 北九州市立大学派遣留学制度の新設について、国際教育交流センターより資料4のとおり提案。

○中期計画等を踏まえ、学生の派遣留学を現行の20名前後から、50名体制まで拡大するため、交換留学を伴わない派遣留学制度の新設を提案するものである。

○コミュニティーカレッジの授業料、ホームステイ費用は学生が負担するが、何らかの支援ができるよう関係機関と協議・検討していきたい。

●単位の認定について、具体的にはどういう科目を想定しているのか。

○英米学科については、学科のカリキュラムをコミュニティーカレッジに示し、対応したプログラムを用意してもらう予定である。

●英米学科での単位認定は、すべて専門教育科目の中で行うのか。

○3年生で派遣される場合はそうだが、2年2学期に派遣される場合は検討が必要。

●英米学科の学生が2年2学期に派遣留学する場合、基盤教育科目の取扱いについては、今後協議いただきたい。

●派遣人数は定員的な考えか。超えた場合は選考するのか。

○一応の目安として考えている。学生の要望や実態にあわせて、学生の質の確保・先方の教育の質の確保・予算の対応ができれば調整する。

●派遣人数によって、コミュニティーカレッジの授業料は変わってくるのか。

○55名程度は安定的に確保できた方がよい。

●派遣の定員について、学科ごとに割り当てがあるのか。

○ない。他学部他学科から派遣する学生は、目安として、TOEFLの点数を設定している。

●他学部他学科の学生には、ハードルが高いのでは。タコマコミュニティーカレッジが各学部にとってどんな意味があるのかわからない。

○他の国等とも連携が考えられるが、現在話が進んでいるのがタコマである。

●同じ派遣留学を韓国や中国でできないか。

○相手方との協議が整い、かつ予算がクリアできればありうる。

【議長】各学部等からの意見をいただき、今後引き続き審議し、制度を固めたい。

【委員全員】（異議なし）

第5号 平成18年度 教職員対象メンタルヘルス研修会の開催について

* 平成18年度 教職員対象メンタルヘルス研修会の開催について、資料5のとおり提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ①北九大ビジネススクール説明会の開催結果について、資料6のとおり報告があった。
- ②MOTセミナーの実施について、資料7のとおり報告があった。
- ③ホームページへのシラバス掲載科目数について、資料8のとおり報告があった。
- ⑤次回の審議会を1月16日（火）に開催する予定である旨、報告があった。